



台湾日本語教育学会創立30周年記念  
「2023年台湾日本語教育研究国際シンポジウム」  
DX時代における日本語教育の挑戦と課題  
プログラム

会場 淡江大学淡水キャンパス・驚声ビル3階（新北市淡水区英専路151号）  
時間 2023年11月25日（土曜日）9:00 - 17:00

0830-0900	受付(驚声国際会議場前)	
0900-0915	<b>開会式</b> 会場 驚声国際会議場 開会挨拶 曾 秋桂 (台湾日本語教育学会理事長・淡江大学教授兼村上春樹研究センター長) 吳 萬寶 (淡江大学外国語学部学部長) 村本 千晶 (日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長) 司 会 樋口 達郎 (台湾日本語教育学会副事務局長)	
0915-0925	記念撮影	
0925-1005	<b>基調講演 1</b> 会場 驚声国際会議場 司 会 頼 錦雀 (東呉大学特聘教授) テーマ 大阪大学における教育DXの現状とXRの教育応用について 講演者 竹村 治雄 (大阪大学サイバーメディアセンター教授)	
1005-1015	休憩時間	
1015-1055	<b>基調講演 2</b> 会場 驚声国際会議場 司 会 頼 振南 (輔仁大学教授) テーマ VR・メタバースで世界をつなぐ国際協働学修 講演者 林 雅子 (東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授)	
1055-1100	休憩時間	
1100-1130	<b>招待講演 1</b> 会場 驚声国際会議場 司 会 楊 錦昌 (輔仁大学教授) テーマ DXにおける国際協働の可能性について 一教育DXの時代における大学の内部質保証 一 講演者 澤田 敬人 (日本比較文化学会副会長)	<b>セッション 1</b> 会場 T311教室 コメンテーター 黄 英哲 (台中科技大学准教授) 曹 英南 (韓国日語教育学会副会長) 学習者の辞書検索はなぜ達成できなかったのか 一韓国の中・上学習者を中心に一
1130-1200	<b>招待講演 2</b> 会場 驚声国際会議場 司 会 范 淑文 (台湾大学教授) テーマ 韓国の日本語教育における授業形態の動向 一オンライン教育への移行と質の向上にむ けた課題一 講演者 金 志宣 (韓国日語教育学会会長)	1105-1125 <b>招待発表</b> 江 俊賢 (高雄科技大学助理教授) 学習者の日本語会話における丁寧体否定形 「～ません」と「～ないです」及び終助詞との共起 一日本語母語話者との比較を通して一 質疑応答
1200-1300	<b>1. 会員大会 (驚声国際会議場)</b> <b>2. 昼食時間 (T311教室)</b>	
1300-1305	<b>セッション 2</b> 会場 驚声国際会議場 コメンテーター 林 慧君 (台湾大学教授) 頼 錦雀 (東呉大学特聘教授)	<b>セッション 3</b> 会場 T311教室 コメンテーター 羅 清立 (東呉大学教授) 馮 寶珠 (輔仁大学教授)
1305-1325	台湾日語教育学会30年の歩み 一1993～2023年一 曾 秋桂 (淡江大学教授)	語学・教育におけるモノのインターネットの学習活動の可能性 李 偉煌 (靜宜大学准教授)
1325-1345	DX時代における日本語教育現場の課題 一生成AIのChatGPTとメタバースの活用を例に一 葉 姿 (淡江大学准教授)	AI自動翻訳における校園カテゴリ体系構築の試み 一GoogleとDeepLの日本語訳を例として一 簡 曉花 (中華大学教授)・張 欽智 (中華大学助理教授)
1345-1405	生成AIが文学研究の補助になる可能性 一村上春樹『一人称単数』を例として一 質疑応答	Web Miningを生かした日本文化関連授業2.0 質疑応答
1405-1420	休憩時間	
1420-1425	休憩時間	
1425-1430	<b>セッション 4</b> 会場 驚声国際会議場 コメンテーター 林 立萍 (台湾大学教授) 吳 如惠 (銘傳大学教授)・戴 喬珊 (銘傳大学修士課程)	<b>セッション 5</b> 会場 T311教室 コメンテーター 洪 心怡 (高雄科技大学教授) 葉 昱辰 (東呉大学学部生)・陳 冠霖 (東呉大学助理教授)
1430-1450	流行り曲を取り扱うウェブサイトを聴解練習に活かす調査研究 中澤 一亮 (元智大学准教授)	日本語オノマトペの音象徴 一非日本語母語話者の聴覚イメージ一 堀越 和男 (淡江大学准教授)
1450-1510	現役日本語教師の視点から見たコロナ禍による遠隔授業 服部 美貴 (台湾大学講師)	書く技能を中心とした総合日本語活動の実践 城戸 秀則 (東呉大学非常勤助理教授)
1510-1530	台湾と日本の大学生によるオンライン俳句交流会 一参与感と達成感を高めるための授業デザイナー 質疑応答	「目的」を表す「～ように」の指導法をめぐって 質疑応答
1530-1545	休憩時間	
1545-1550	休憩時間	
1550-1620	<b>パネルディスカッション</b> テーマ DX時代における日本語教育の挑戦と課題 一少子化とAIの影響による外国語教育の変革一 会場 驚声国際会議場 司 会 曾 秋桂 (台湾日本語教育学会理事長)	パネリスト1 竹村 治雄 (大阪大学サイバーメディアセンター教授) パネリスト2 林 雅子 (東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授) パネリスト3 澤田 敬人 (日本比較文化学会副会長) パネリスト4 金 志宣 (韓国日語教育学会会長) パネリスト5 葉 淑華 (中国文化大学外国語学部学部長) パネリスト6 黄 翠娥 (輔仁大学外国語学部前副学部長) パネリスト7 王 世和 (東呉大学外国語学部学部長) パネリスト8 董 莊敬 (文藻外語大学歐亞学部前学部長) パネリスト9 曾 秋桂 (淡江大学日本語文学科教授)
1620-1650	総合討論	
1650-1700	<b>閉会式</b> 会場 驚声国際会議場 閉会挨拶 曾 秋桂 (台湾日本語教育学会理事長) 司 会 樋口 達郎 (台湾日本語教育学会副事務局長)	

主催 台湾日本語教育学会・淡江大学村上春樹研究センター  
 助成 独立行政法人国際交流基金・国家科学及技術委員会  
 後援 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所  
 日本比較文化学会・韓国日語教育学会

